

ESAシステム健全性チェックの設定と実行

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[システムのヘルスパラメータ](#)

[システムヘルスチェック](#)

[潜在的なアップグレードの問題の分析](#)

[システムヘルスチェックによって分析されたデータ](#)

[改善計画](#)

[結論](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)でシステム健全性パラメータを設定する方法と、システム健全性チェックを実行する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

システムのヘルスパラメータ

システムヘルスパラメータは、CPU使用率、作業キュー内の最大メッセージなどを監視するためにアプライアンスに設定されるしきい値です。これらのパラメータには、アラートが通過した後に送信するようにしきい値を設定できます。システムヘルスパラメータは、アプライアンスのGUIから **System Administration > System Health > Edit Settings** または、CLIコマンドを実行できます `healthconfig`。システムヘルスチェック自体は、GUIから **System Administration > System Health > "Run System Health Check..."** または、CLIコマンドを使用できます `healthcheck`。

注：システムの正常性パラメータの詳細と設定に関するサポートについては、『[Cisco AsyncOS for Email ユーザガイド](#)』を参照してください。

System Health

| Edit System Health Configuration | |
|----------------------------------|--|
| Overall CPU Usage: | Threshold: <input type="text" value="85"/> <input checked="" type="checkbox"/> Alert if exceeds threshold |
| Memory Page Swapping: | Threshold: <input type="text" value="5000"/> <input checked="" type="checkbox"/> Alert if exceeds threshold |
| Maximum Messages in Work Queue: | Threshold: <input type="text" value="500"/> <input checked="" type="checkbox"/> Alert if exceeds threshold |

図 1 : システムヘルスのデフォルトパラメータ

パラメータを設定すると、GUIを使用して表示するときに、値がレポートグラフに表示されます。たとえば、Overall CPU Usage グラフ(Monitor > System Capacity > System Load)、赤い線が表示され、設定された85%のしきい値が示されます。

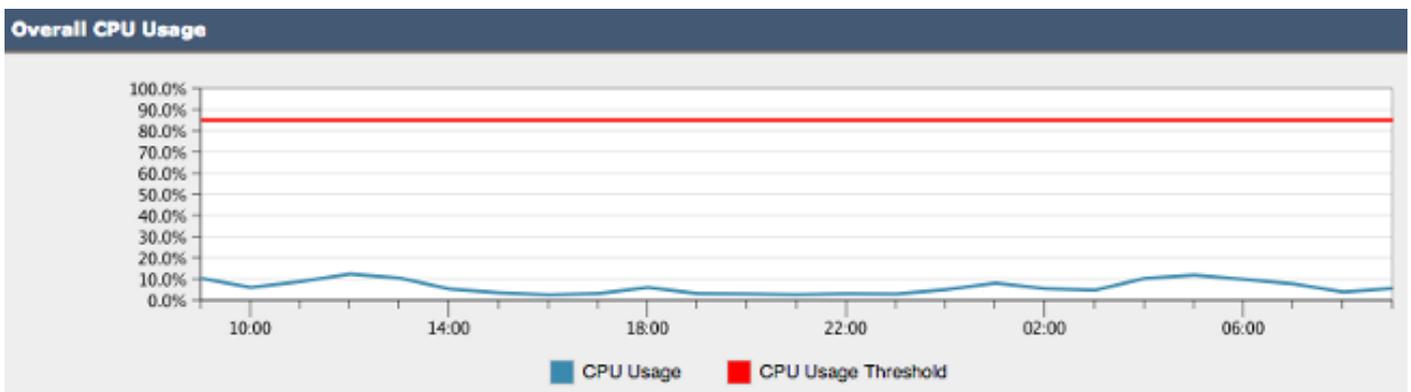


図 2 : 全体的なCPU使用率の例

しきい値を超え、アラートが有効になっている場合は、図3の例のような情報メッセージが送信されます。

Overall CPU usage is above the configured threshold.

IronPort C100V Alert

Sent: Thursday, April 16, 2015 at 4:36 PM

To: I

The Info message is:

Thu Apr 16 19:36:16 2015 : The CPU usage (85.0761058775%) has exceeded the configured threshold (85%).

Version: 9.5.0-035

Serial Number: !

Timestamp: 16 Apr 2015 19:36:16 -0400

To learn more about alerts, please visit our Knowledge Base. In many cases, you can find further information about this specific alert. Please click the Knowledge Base link after logging into our Support Portal at:

<http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html>

If you desire further information, please contact your support provider.

To open a support request for this issue, access the IronPort C100V and issue the "supportrequest" command. The command sends an email with diagnostic information directly to Cisco IronPort Customer Support to facilitate a rapid diagnosis of the problem.

Thank you.

図 3 : システムの健全性に関するアラート電子メールの例

システムヘルスチェック

システムヘルスチェックは、ESAのパフォーマンス履歴を確認する自動化ツールです。これは、マシンの履歴リソースの消費が、次のバージョンのコードにアップグレードされた後に安定して実行できるようにするかどうかを判断するのに役立ちます。システムヘルスチェックは、システムヘルスパラメータのサブセットです。

13.5.1以前のリリースを実行するESAでは、システムヘルスチェックがアップグレードプロセスに組み込まれ、自動的に実行されます。システムヘルスチェックは、いつでも手動で実行できます。 System Administration > System Health > "Run System Health Check..."

AsyncOS 13.5.2以降では、システムヘルスチェックは自動的に行われなくなり、手動で実行する必要があります。これは、GUIから行います。選択 System Administration > System Health > "Run System Health Check..." .CLIから、 healthcheck コマンドが表示されない場合もあります。

ヘルスチェックでは、アプライアンスはステータスログから取得したESAの履歴パフォーマンスデータを調べ、潜在的な問題を強調表示します。

潜在的なアップグレードの問題の分析

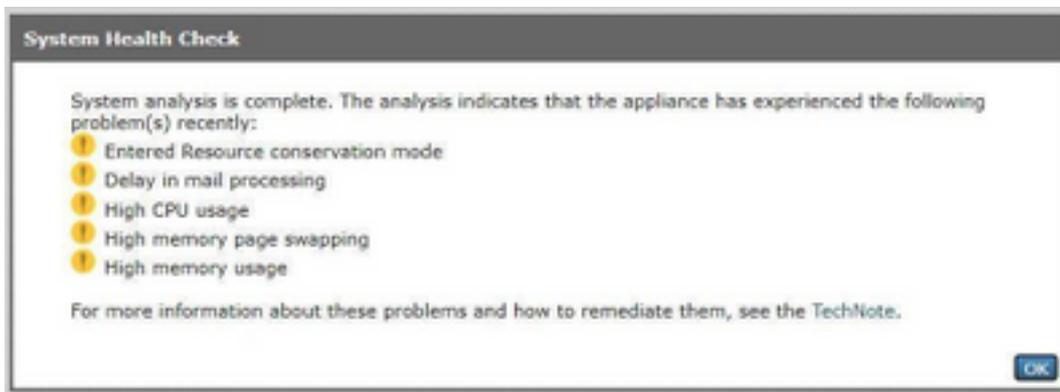


図 4 : システムヘルスチェックツールと潜在的な分析結果

システムヘルスチェックによって分析されたデータ

システムヘルスチェックは、ESAのステータスログから履歴メールトラフィックデータを読み取ります。特に、次の表に示す主要なメトリックを読み取ります。

| 測定項目 | しきい値 | 説明 |
|----------|------|--|
| WorkQ | 500 | WorkQは、ESAの主要なパフォーマンス測定メトリックです。WorkQは、ワークキューに平均500の数のバックログの履歴がある場合、アップグレード |
| CPUld | 85 | CPU負荷またはCPU使用率：CPUが一貫して85 %以上に達すると、アプ |
| RAMUtil | 45 | Ram使用率：アプライアンスで使用されるRAMが平均で45 %を超えると、 |
| スワップしきい値 | 5000 | スワップしきい値：ステータスログから導出された番号(SwPglN + SwPgOu ルチェックの結果は「High Memory Page Swapping」です。 |

注：AsyncOS 11.0.2 for Email Securityの場合、SwapThresholdはシステム変数と直接比較され、メモリから1分間でスワップされたページ数は比較されません。デフォルトのSwapThreshold値は10です。

改善計画

改善計画は、メッセージフィルタの最適化から、電子メール環境で負荷を処理するために追加のアプライアンスを使用できるという判断まで、さまざまなアプローチで構成できます。

アーキテクチャに関しては、ご使用のバージョンのソフトウェアに含まれている中央集中型管理またはクラスタ機能を利用してください。クラスタ機能は、クラスタ内のすべてのアプライアンスに設定や変更をコピーする際の管理作業を簡素化するため、高可用性Eメールアーキテクチャのメンテナンスに特に役立ちます。

アップグレードチェックで強調表示された問題の解決に役立つリソースのリストを表に示します。

Cisco Technical Assistance Center(TAC)は、改善に関する質問やアイデアを歓迎します。ESAのサポート要求機能を使用して、新しいCisco TACケースを自由に開始できます(`supportrequest` コマンドを発行して、 `Contact Technical Support Web GUI`で確認できます

| アップグレードチェックの結果 | 説明/修復オプション |
|----------------|--|
| メール処理の遅延 | メール処理遅延 (ワークキューバックアップ) は、通常、電子メール |
| リソース節約モード | ESAでのリソース節約モードの詳細に関するFAQを 参照してください |

メモリ使用量が多い メモリ使用率が高い場合は、通常、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) の大容量メモリページスワッピング「高価なメッセージフィルタ」を示す場合が多く、「メモリが多いページ」

結論

システムヘルスチェックに関する追加の質問や懸念点がある場合は、アプライアンスで稼働しているAsyncOSのバージョンに関するリリースノートとユーザーガイドを参照してください。

関連情報

- [Eメールセキュリティアプライアンスエンドユーザガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)